

だし巻き

作詞 村上隼一 作曲 エース兵頭

朝から洗濯 部屋の掃除

目玉焼きにつまづいて

キメられない ホント小さいオレ

何にも考えないで

生卵一気飲み干すくらいの

勢いが そう 今のオレには必要なのに…

数えればキリがない ネガティブな自問自答

同じ事繰り返し 答え探してる

「今が一番好き？」って聞かれて

「今が一番好き！」っ答える

胸を張って 空を仰ぐ 自分でいたいのに…

毎日笑って 穏やかに明日に向かって

運命 丸ごと引き寄せられる 自分でいれたなら…

何でもかんでも 「まあいっか、また明日」の  
山に遭難して

抜け出せない 本当ユルいオレ

完徹やってもがいて

リポD一気飲み干すくらいじゃ

追いつかない いつもオレは逃げてばかり

相手のない「つぶやき」に 何を求めているの？

本音はただ 自分を大声で叫びたい！

「今が一番好き？」って聞かれて

「今が一番好き！」っ言えない

## 希少疾患の実情知って

松山で講演やコンサート  
イベント

世界希少・難治性疾患の日に合わせた啓発講演や患者らのミニコンサートが26日、松山市大街道2丁目の大街道商店街で開かれた。手足がしびれて動かしにくくなるギラン・バレー症候群を乗りこえて就職した今治市美須賀町2丁目の会社

員村上隼一さん(36)の講演や患者らのミニコンサートなどがあつた。

県難病等患者団体連絡協議会が開催し、2回目。村上さんは土木作業員だった2008年2月にギラン・バレー症候群になり、約

1年半の入院を経て岡山パソコンなどを学んだ。



希少・難治性疾患患者の就職について  
体験を話す村上さん

10年10月に今治市の造船会社に就職して設計業務などを担当している。村上さんは「家族や友人、医療スタッフなど周囲の支えがあったからハビリティを続けられ、就職もできた。諦めずに頑張ることが大切だと感じた」と訴えた。

また腎機能障害を患いながら音楽活動をしている松山市宮西3丁

目の須賀智哉さん(32)らによるミニコンサートもあった。須賀さんは「希少疾患が多様性の一つとして受け入れられるよう、多くの人に病気のことを知ってもらいたい」と話していた。(青橋圭太)

2017.02.27  
愛媛新聞

眠れない夜に必死で 言い訳考えてる  
誰かが「一緒！」って言ってくれたら  
少しはラクになれるかも…  
何てまた弱気発言  
もっと強くなりたい

誰かの為なんて 格好つけてられる身分かよ  
自分の事すら まともにはできないくせに  
開き直って 生卵一気飲み干せば  
現実が見えてきた  
すべき事が わかったよ

「何とかしなくちゃ…」って  
自分を追い詰めないで  
「何とかなる！」くらいに  
肩の力 抜いて進んでみよう  
美味くはないけど だし巻きだって作れたよ！  
そしたら 世界中が昨日よりも  
キラキラして見えたよ  
「今が一番好き？」って聞かれて  
今なら言えるよ！ 本気で!!  
胸を張って 空を仰ぎ 「今が一番好き！」  
「今の自分が一番好き!!」